

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成29年3月28日

計画の名称	5 島内、各離島間、県本土・県際間の連携強化により人・物が活発に行き交う快適で活力ある奄美地域の形成に資する港湾の整備（地域活性化）	重点配分対象の該当
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象 鹿児島県、宇検村、瀬戸内町、喜界町
計画の目標		

・主要な港湾において定期船等が安全・確実に接岸できる施設整備を進め、奄美群島内外との交流・連携の促進による交流人口の拡大により、豊かな自然や独特の伝統文化、癒しの地域としての特性を発揮できる地域を形成する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・生活航路である定期船等が接岸する岸壁の荷役稼働率を97.5%以上とする。【港湾の安全性・利便性の向上】
- ・加計呂麻島の鉱産物等を安全に取り扱える岸壁を整備する。【港湾の安全性・利便性の向上】
- ・奄美各港において防波堤の整備により異常時に避難係留可能な係船岸の増加を図る。【小型船だまりの整備】

定量的指標の定義及び算定式

1. 港湾の安全性・利便性の向上
各港の定期船等の利用する岸壁のうち、技術基準（荷役稼働率97.5%以上）を満足する岸壁数
2. 港湾の安全性・利便性の向上
加計呂麻島の鉱産物等専用岸壁
3. 小型船だまりの整備
異常時に安全に係留できる船隻数

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H27当初)	(H29末)	(H31末)	
1. 港湾の安全性・利便性の向上 各港の定期船等の利用する岸壁のうち、技術基準（荷役稼働率97.5%以上）を満足する岸壁数	0	1	1	
2. 港湾の安全性・利便性の向上 加計呂麻島の鉱産物等専用岸壁	0	0	1	
3. 小型船だまりの整備 異常時に安全に係留できる船隻数	24隻	48隻	72隻	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	9,562百万円	A	9,562百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	--------------	----------	---	----------	---	-----	---	-----	---	-----	--------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31						
【港湾の安全性・利便性の向上】																			
5-A1-1	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	防波堤(南)	延長 L=180m	古仁屋港・須手地区						140					
5-A1-2	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	防波堤(沖)	延長 L=600m	湾港・湾地区						2,713					
5-A1-3	港湾	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	防波堤(沖)(南)	延長 L=300m	亀徳港・亀徳地区						4,093					
5-A1-4	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	岸壁(-5.5m)	水深 D=5.5m、延長 L=100m	加計呂麻港・俵地区						440					
5-A1-5	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	道路III	幅員 B=7.0m、延長 L=85m	加計呂麻港・俵地区						20					
5-A1-6	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	港湾施設用地III	面積 A=3,020m ²	加計呂麻港・俵地区						110					
5-A1-22	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	道路IV	幅員 B=5.5m、延長 L=200m	加計呂麻港・俵地区						100					
5-A1-23	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	泊地(-5.5m)	水深 D=5.5m、面積 A=6,500m ²	加計呂麻港・俵地区						100					
【小型船だまりの整備】																			
5-A1-7	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	防波堤	延長 L=60m	加計呂麻港・瀬武地区						40					
5-A1-8	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	護岸(防波)	延長 L=49m	加計呂麻港・瀬武地区						22					
5-A1-9	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	物揚場(-2.0m)	水深 D=2.0m、延長 L=50m	加計呂麻港・瀬武地区						52					
5-A1-10	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	港湾施設用地	面積 A=1,000m ²	加計呂麻港・瀬武地区						1					
5-A1-11	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	道路	幅員 D=5.0m、延長 L=30m	加計呂麻港・瀬武地区						19					
5-A1-12	港湾	奄美	瀬戸内町	直接	瀬戸内町	船揚場	延長 L=20m	加計呂麻港・瀬武地区						39					
5-A1-13	港湾	奄美	宇検村	直接	宇検村	船揚場	幅員 W=24.3m	湯湾港・湯湾地区						98					
5-A1-21	港湾	奄美	宇検村	直接	宇検村	泊地(-3.0m)	水深 D=3.0m、面積 A=470m ²	湯湾港・湯湾地区						8					
5-A1-14	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	防波堤(沖)	延長 L=60m	喜界島港・志戸橋地区						126					
5-A1-15	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	物揚場(-2.0m)	水深 D=2.0m、延長 L=50m	喜界島港・志戸橋地区						76					
5-A1-16	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	道路	幅員 D=5.0m、延長 L=40m	喜界島港・志戸橋地区						6					
5-A1-17	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	港湾施設用地	面積 A=2,700m ²	喜界島港・志戸橋地区						35					
5-A1-18	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	防波堤(沖)	延長 L=105m	喜界島港・浦原地区						1,225					
5-A1-19	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	航路(-2.0m)	水深 D=2.0m、面積 A=3,500m ²	喜界島港・浦原地区						50					
5-A1-20	港湾	奄美	喜界町	直接	喜界町	泊地(-2.0m)	水深 D=2.0m、面積 A=2,000m ²	喜界島港・浦原地区						50					
合計											9,562								

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計											0						

C 効果促進事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	1,677				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	1,677				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	1,191				
翌年度繰越額 (f)	486				
うち未契約繰越額 (g)	79				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	4.7%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

- ※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。
- ※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

